

会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回垂水市総合開発審議会	
開催日時	令和7年8月28日（木）	10時00分から11時00分まで
開催場所	垂水市市民館 大ホール	
出席者	<p>委員12人 （佐野 雅昭委員、崎野 剛委員、染川 貴政委員、川崎 あさ子委員、福里 由加委員、森 真由美委員、川筋 貴子委員、村野 剛委員、宮下 直弥委員、川井田 守委員、鵜飼 康弘委員、清水 誠委員）</p> <p>垂水市 尾脇 雅弥 市長 事務局（企画政策課／堀留課長、羽生課長補佐兼政策推進係長、二川主幹、感王寺主査、迫田主任主事、瀬戸口主任主事、岩元地域振興係長、総務課／園田課長、川井田安心安全係長、税務課／吉崎課長、保健課／永田課長、大迫課長補佐兼元気プロジェクト係長、松元子育て支援係長、福祉課／新屋課長、馬渡地域福祉係長、市木地域包括ケア係長、農林課／森課長、篠原課長補佐兼林務耕地係長、水産商工観光課／大菌課長、迫田観光・ジオパーク係長、土木課／福留課長、東技幹、川上土木係長兼建築係長、横峯副技幹、教育総務課／小池課長、駿河庶務係長、学校教育課／川崎課長、社会教育課／大迫課長）</p>	
会議事項等	1 開会 2 委嘱状交付（染川 貴政委員） 3 市長あいさつ 4 審議 (1) 第2期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について (2) 令和6年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業の効果検証について 5 閉会	
審議内容	<p>(1) 第2期垂水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について 事務局より資料に沿って説明 ＜主な質問・意見等＞ 委員1) 観光振興と交流人口・関係人口の増加や経済波及効果等は、市の活性化にとって非常に重要だと考える。「垂水イメージアップ事業」等をおとし、今後も戦略的なPRを期待する。今年度の観光資のPRについて、具体的な内容と効果について尋ねる。 事務局) 交流人口の拡大を目的に「観光PR事業」として4事業を展開し、本市観光資源の利用促進や効果的なPRを図っていく。 ① 中京地区観光ビジネスモデル確立事業 ② 観光PR動画配信業務委託事業 ③ JRまち歩きガイド広告事業 ④ 市公式観光PRポスター制作事業 また、今年度、垂水市観光推進計画を策定中であり、本市観光の実態及びニーズ調査を実施することで、問題点・課題点を整理し、経済波及効果の試算を行ったうえで、効果的なプロモーションや国内外からの誘客に対するソフト・ハード面の受け入れ態勢の整備、関係機関との推進体制の在り方などを定め、今後の観光振興におけるアクションプランとして活用できるものを策定する。 委員1) 今後も本市活性化のため、観光協会や商工会も一連携して取り組んでいきたい。 委員2) 「子ども医療費助成事業」について、令和6年度から県に先駆けて18歳までの医療費の窓口負担がなくなり、大変ありがたいと考える。効果や実績について尋ね</p>	

審 議 内 容	<p>る。また、令和7年度から県内窓口負担なしについて、説明を求める。</p> <p>事務局) 令和6年度より、県及び県内自治体に先駆けて市内29か所の保険医療機関等で窓口無償化を実施した。待ち時間の短縮や、早期治療や歯科の定期受診により重症化防止につながるなどの期待の声が挙がっている。令和7年度より、県の制度改正により、県内の保険医療機関まで窓口無償化が拡大された。</p> <p>委員2) 早めの受診は予防にもつながるため、子育て世代の負担軽減に大きく役立つと考える。本市の子育て支援政策は非常に充実しているが、ニーズに応じた更なる環境整備をお願いする。</p> <p>委員3) 本市の外国語教育は充実していると感じている。「中学生英語検定補助事業」について、昨年度から小学生が対象となったとあるが、反響や実績について尋ねる。また、「夢の翼事業」の再開に向け、今後の方針はどうか。</p> <p>事務局) 英検受験者数は年々伸びており、英語への関心が高まってきたため、昨年度より対象者を小学生にも拡充している。加えて、令和7年1月より市民館を準会場とし、小学5・6年生を対象に英検を実施した。本市での受験により児童・保護者の負担が減少し、より受験しやすい環境づくりに繋がった。</p> <p>「夢の翼事業」は来年度から再開予定。以前は香港に派遣していたが、今後は台湾への派遣を検討しており、今年度中に現地視察等により準備を行う予定。多様な価値観に触れ視野を広げると共に、語学学習のモチベーションに繋がることを期待している。</p> <p>委員3) 派遣事業は生徒にとって貴重な体験となることは間違いない。海外の情勢等を踏まえ、本市に適した外国との交流事業を検討していただきたい。</p> <p>委員4) 地域における公共交通の在り方が課題となっている。「総合交通対策事業」における乗り合いタクシーに今年10月から牛根ルートが加わるが、具体的な内容と、昨年の実証実験の結果や反響を尋ねる。また、地域公共交通の在り方について、現時点での方向性について併せて伺う。</p> <p>事務局) 令和6年度「垂水市地域公共交通計画」を策定し、課題解決に向けた事業を展開しており、事前予約型乗り合いタクシーの運行区域拡大もその一つである。牛根地区と中央地区を結ぶルートにおいて、3か月間(R6.12～R7.2)実証運行を行い、アンケート調査も実施。高齢者や自家用車を保有していない方のニーズが高いことを確認し、協和地区からの乗車についても要望が挙がり、10月より市北部(牛根・協和地区)と中央地区を結ぶルートの運行が決まった。今後も、市民ニーズに合わせた利便性の高いサービスの提供や利用促進を図ると共に、多様な輸送資源の可能性、市民協働の交通サービスについて調査・検討していく。</p> <p>委員4) 地域公共交通を取り巻く環境はますます厳しくなっている。将来にわたって維持・確保されるよう、他の自治体の例を調査し、垂水市にあった制度導入について検討していただきたい。また、行政任せではなく、気軽に移動できる仕組みづくりについて、市民も考えていく必要があると思う。</p> <p>委員5) 高齢化が進む本市において、地域と行政が一丸となって高齢者を支援する仕組みが必要と考える。「たるたるおでかけチケット交付事業」について、交付額の増額及び利用箇所の拡充について尋ねる。また、そのほかに取り組んでいる高齢者支援事業はあるか。</p> <p>事務局) 令和5年度利用者アンケートの結果を基に、令和7年度より、交付額を5,000円に引き上げ、鴨池・垂水フェリーでも使用できるようになった。利用者から変更点について好意的な意見が寄せられており、交付実績は令和7年8月中旬時点で昨年度交付額を大きく上回る実績となった。</p> <p>令和7年度より、介護予防はもとより、孤独・孤立予防、地域の支えあいの機運醸成を図ることを目的とし介護予防運動を実施する「地域いきいき元気学校」を</p>
---------	--

審 議 内 容	<p>市内9地区で開講している。各地区で開催することで、参加しやすいと参加者から好評を得ている。今後は、こども食堂とも連携し、地域での賑わいを創出する試みも検討したい。</p> <p>委員5) ひとりぼっちを作らないというコンセプトで子ども食堂を実施している。これからも地域に根差した活動となる様に、引き続き市の協力を依頼する。</p> <p>議長) 追加で意見や質問のある方は、事務局に提出すること。</p> <p>(2) 令和6年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業の効果検証について 事務局より資料に沿って説明 ＜主な質問・意見等＞ なし</p>
会 議 結 果	<p>・総合戦略効果検証（5年目）について審議会委員による外部評価がなされた。審議会委員については、別途意見がある場合は、後日事務局へ意見を提出することとなった。</p>
会 議 録 の 作 成 方 法	<p><input type="checkbox"/> 録音媒体を使用した全文記録</p> <p><input type="checkbox"/> 録音媒体を使用した要点記録</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 要点記録</p>
特 記 事 項	無し